休刊 大祭日 第一 第三日曜
定價 一部二錢 一ケ月六十錢 郵税十五錢
廣告料 壹行六十錢 指定廿錢増
發行兼編輯印刷人 菊沼能輔
福島縣平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社
電話五六四番

思ひ出草 (21)

哲村

古いスクラップブツクから

寂しい手紙

一

頬杖をついて空越しに夕ぐれの空を眺めてゐつた自分は街から上つて來た工場の小娘の發音にフト氣がつきそれに吩咐けてストーブに薪を注がせた——さて今日の仕事も終へたな。と云ふ一種の[illegible]さからホツとして机上の金魚鉢に目をおとした、金魚は子供たちが惡戯半分に挿した猫やなぎの少枝の下で凝乎としてゐるか無きかの呼吸を續けてゐた、それに隣つて置いた去年の秋瀬內へ出張した時同郷の鈴木公爵から贈られた九谷の銚子を一輪挿しに擬して無造作に立てた猫やなぎの枝はふくよかな銀毛の新芽をつけて素淺い夕暮れの日光に冷く光つて居る

——時を刻んで單一な音響を續ける時計、ストーブの中で水氣を吹く薪の咽び死んだ樣に沈まり返つてゐる同人の卓子や椅子、冷い暮靄を宿して死魚の目の樣に物怯ゐのした色に光つてゐる書棚の硝子——

自分は寂しい夕暮れだなと心に思つた

よく若い人が死ぬなあ……フト慿歴ことを思ひ出した

自分は最近物故したSちやんの外に之れと前後して死んだ知らせを受けたRさんの死に就て色々考へて見た

Rさんは村でも素封家である〇屋の長男で國の中學を濟まし早稻田の商科を卒へてからは二十五で郡會議員に當選などしたが最近は村の郵便局長として政界に雌伏してゐた、併し國では尚ほ且つ憲政會の一勢力として隱然重きをなしてゐた人である

駿河臺の杏雲堂に入院して居たが竟に起つ事が出來ずして死んでしまつたと郷里の新聞や親爺からの通信で解つたのであつた

暮近い編輯で只獨り之等の故人を中心として色々な過去の追憶を辿つた自分はその亡き五の少年時代に想ひ至つて雨の樣な思慕の念に驅られてゐても立つてもゐられぬ樣な氣持ちになり急にそれらの遺族の人に手紙を書いて見る氣になつた、そして慿慶手紙を書いて見たのであつた

（Sちやんの兄さんでN市の醫學校の教授をしてゐるBさんに宛てたもの）

——拜啓恐らく拜眉の機を不得候處其後如何御消光遊ばされ候哉舍兄事錦地在職中の事とて何彼と常に御厚誼を辱ふしつゝ有之事と奉感謝候、陳者這回S君の御長逝はつい先達當地（豐原）停車場にて上京間際の御本人に遭ひ色々郷里の事ども語り合たるのみの小生として只々夢心地と申すより外無之御一統樣の御愁傷さこそと奉恐察候、實は小生事七年秋再度の渡樺以來S君とは桑梓の地に程遠き異郷に於ける唯一の郷黨として折にふれ互に往復するを此上なき樂みとして昨春共に入院患者として當地病院に落ち合ひたる際の如き互に偶然なる逢ふ瀬を悅び乍ら漸く病勢の衰ねたる頃よりS君は細君に扶けられ小生は松葉杖に縋りて相往復し盡きざる幼時の追憶話しに耽りなどして病院生活の憂たてさを忘れたる程に候へき、過般[illegible]兒を擧げらるゝや、小生微力何ほ人ことならず悅びては出張の歸途立ち寄りて共々その前途の事ども語り合ひけるものを、と彼此故人在世の當時を想起すれば名狀し難き萬感の油然として胸奥に湧起するを覺ねざるを不得候、尊堂を始め御一統樣には遺孤御兩名及び若き未亡人の將來に就き遺漏なきを期せらるゝ事勿論と存せられ候得共生前吾方面よりの德望を一身に鐘められたる故人の二三親友は（中略）やとなりては遺孤御兩名の教養撫挽き未亡人の今後に對し能ふ限りの斡旋を試み故人の冥福を祈るより外有之間敷故人への供養こそ望ましきものに有之候、爲感錯綜筆端雜然として御判談に苦まるるならんも右遙かに哀悼の辭を申し述べ度く書中以亂筆此如に御座候

自分は斯んな事を書き了つて擲り書きの手紙は更めて讀み直す氣にもなれずその儘丸めて封筒に押し込んだ

（大正八年の春）

——（今月今日）——

△後白河法皇義仲に平氏を討たしむ（壽永二）△救世軍ブース大將入京（大正一五）△ハルリス將軍實定に渇す、則ち米國との通商條約を議定せんが爲である（安政四）△伴信友歿す。本居宣長以後の國學者で博聞强記著書積んで百二十部四百卷の多きに達するその名聲高く水戶烈公、紀伊一位、白河樂翁、三條實滿、日野資愛、村田春門、杉浦玄[illegible]、藤田東湖、淺田宗白など一代の名士と交誼厚し（弘化三年）

講談 赤穗安兵衛

東京 桃川燕二演
村田月光畫
（七五）

娘も番頭も幾らか弱り氣味だ、此の時泥田へ打込まれた一人が眞つ黑になつてノコ〳〵動き出した、多分正氣取を戻したのでせう……「あれ見ろ泥助が彼の通り生返つたぞ、恐悶〳〵手間取つて居て又追はれてもして見ろ、最前の樣な騷ぎが起る、早く逃げろ、逃げんと今度こそは助けぬぞ」……「ねエツ生返りましたか」いや番頭も娘も驚いたの驚かないのぢやない」……「左樣ならば是れで御免を」……「旦那さまそれではお待ち申上げます、是非どうか手前共へ」……「行くぞもう好い酒があると聞いては嫌るなど言つても、うるさい縊押し掛けるぞ」二人は驚きと恐れで丸くなつて逃げて行く……「ハヽア、好い按排に酒の飲み場所が一軒出來たぞ」と安兵衛喜ぶ、其時に泥田へ打込まれた一人が、ピク〳〵もので這へ上る、羽織でも袴でも泥だらけ、面は尚更のこと眞つ黑になつてハクショと大きなくしやみを一つすると、鼻の穴から何か飛出し往來を這ふ、見ると夫れは鮒た「やツ先生、慾張つた野郎で鼻の穴へ鮒を押し込んで出て來た」慾張つて取込んだ譯でもありますまい、這上ると直ぐに逃げ出さうとする……「待てツ」と安兵衛の大喝に……「へゝエ」地べタへ座り込む……「逃げるに於ては手裏劍を飛ばして貴樣の一命を奪ふぞ」……「へゝわつ、どうぞ其處のところは」——「前へ出ろもつと前へ進め」……「何うぞ平に御勘辨を」——「いや敢て勘辨せぬとは云はぬ聞く事がある前へ出ろ」…「最うこれで充分」……「出ろと云つたら出ないか」…「ウーッヘエ」奴さん安兵衛の眼の光るのに恐れて、オヅ〳〵前へ進んだ「これ最前は佐竹の家來だと申したな、屹と左京太夫殿家來か」——「何うか其處のところは」……「實際の事を言へ、佐竹の家來で何役を勤め、食祿は何程頂戴して居るか」……「其處は平に御勘辨を」……「イヤ言ぬぬな、よし〳〵、金子彼方に氣絕して居る二人を連れて來なさい」……「へえ畏まりました」門人二三人、正氣を失つた連れの二人をエイチヨ〳〵擔いで來る——「ドレ〳〵」安兵衛立つて刀の提緒で木の根へ確と括りつける……「ヤア、ヤツ」と活を入れると、二人共……ウム、……と息を吹返します。見ると眼の前で安兵衛背中を與れて酒を飲んでゐる……「あつ吉野、是りやあ大變だ何時の間に背中へくつ付いたのか、一向離れない」……「黑沼、お手前の手許りぢやない、我等の手も同樣動かなくなつた是りやあ變だぞ」……「あつあの眞つ黑な顏をして、キヨロ〳〵眼を光らせてゐるのは、出淵らしいオイ〳〵出淵拙者等の手をどうかしてくれ」……「默れつ」と安兵衛振返つて二人を睨み付けます「ウワーッ」と黑沼と云ふ奴異つさほになる、安兵衛が後向きで居たから外のものとでも思つて居たらしい、ブル〳〵〳〵〳〵震えて——「どうかお助けなすつて、手前共が重々惡うございました」と大男のくせに泣き聲になる「重々惡いと氣が付けば夫れでよい、今貴樣達の話しで黑沼、吉野、出淵と云ふ三人の苗字が判つた、貴樣達は三味線堀の久保田公の家來達だな、食祿と役名を名乘れ、其上にて勘辨出來れば するぞ」——「へえ、其處が武士のお情でございます、全くもつて酒興の上で、彼の樣な眞似をしたのは皆酒でございます、萬一手前達の役名錄高など知れ渡りますれば、手前達は直ぐにもた眼鏡か浪人となります、どうかまア其處のところを」と三人が三人手を合はさぬ許り、大きな涙を、ホロリ〳〵。

拈華微笑

◇世話なしに撃てあるのを買つて戻る天狗もあらう。あす解禁
◇昔大浦邊にマンモス。いま南町邊に九尾の狐
◇大枚千萬圓で磐城丸の改造、今度からは隱して逃がさぬぞ
◇人數が解る樣透明の硝子を入れる事、床屋紛擾再燃に新要求？
◇一千萬圓の大豫算どう裁くか知事のお手並拜見と出かけよう
◇……◇

映畫欄

來年度輸入作品を詮衡

メトロ社では既に今秋の雄篇ローレンス・チベツトの『惡漢の唄』に「スポーツ王國」「接吻」等の大作も新くそれ〳〵封切られる事に決定したので愈々來年度の提供の新作品を輸入することになり目下多數作品中より嚴選の上取寄せるべく詮衡中である、尚ほバスター・キートンが第一回トーキーとしてオールスターキャストで完成した、エドワード・セヂウイツク監督の「キートンのエキストラ」は正月興行用として大々的に宣傳を行ふ事になつてゐる

メトロの大作 『惡漢の唄』

メトロ社がアメリカ隨一のバリトン歌手ローレンス・チベツトを主演に製作したライオネル・バリモア監督作品『惡漢の唄』は同社今秋の封切を期待されてゐたが突如松竹座チエーンとの交渉纏まり十五日より淺草、新宿兩松竹座のウエタン機据付け第一回興行として公開される尚ほウイリアム・ヘインズ、アニタ、ブーヂ主演の『スピードウエイ』も同時に封切られると

一週間も待た 辛棒强い撮影 沈默の敵完成

十五日からパ社系三館に封切られる『沈默の敵』は嘗て好評を博した『チヤング』『地上』等と同じく土人の生活に取材した自然映畫でこの映畫製作者ダグラス・バーデン、ウイリアム・チヤンラー兩氏は北部カナダの大森林中に想像外の忍耐と努力のうちに二ケ年に亘る探險撮影を行つて完成したもので一場面の撮影に數日を要した箇處も少くないとの事で、殊にクライマツクスをなしてゐる數百萬の馴鹿の群が南へ〳〵と移動してゆくシーンの如きは一週間も辛棒强く機會を待つたとの事までことに記重なる記錄映畫である

佐藤紅綠の『棘の冠』

一

さきに獨逸に於て好評を得たる、『永遠の心』以來—『父』近くは『己が罪作兵衛』をものして非凡の監督として認められてる松竹蒲田の佐々木監督は今度秋季文藝作品、佐藤紅綠氏原作の—『棘の冠』を映畫化する事となつた、脚色は吉田百助で目下製作準備中であるが、原作は十年前の讀賣新聞に連載されて當時の紙價を高めたるもので當時に於けるブルジョア生活を如實に描いた暴露小說で、近日配役發表の筈

每度御引立テ御禮申上マス
肉なべと 松茸洋食 かん酒を…… 初めました
皆樣をお待ちして居ります
座敷も増設になりました 是非
女給入用
四倉町本町
武田バー
武田肉店
電三二番

食堂擴張披露
季節向御料理種々
よせなべ五〇錢 貝なべ三〇錢 松茸どびんむし三〇錢 茶わんむし二五錢
なべ燒 支那そば しるこ 一〇錢均一 外數種 大勉强
美なとすし
四倉町新須賀町

東北巡業歸途
立秋之又々聚樂館之陣立
◎時節柄入場料是迄ナイ
安ク見ラレ外久々之御目見得
東京 大歌舞伎市川座 來演
期日八短期十月十五日ヨリ向四日間
◎晝節顏見世町廻りハナシ
◎午後五時花火合圖開場

新設電話開通
電話六七八番
暑さも遠ざかり涼しき季節となりました。そして御婚禮の時季となりました。皆樣どーぞ御用命を御願致します。
和洋結髪美顏術
婚禮仕度美爪術
白赤毛染洗髪術
平驛前
水野化粧院
主 水野冬子
大泉キン子

節變り獻立御知らせ
初秋の丸昌は松茸の料理
鮭の料理と芳醇な美酒で！
(昌) ホール
南町四丁目 本店
第一支店
四倉支店
電第二六八番

X光線 外科專門
入院隨意（自動車の便あり）
平南町
上田外科醫院
電話一二九

外科一般（入院隨意）
病室完備
内臓外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

廣告
吉田眼科醫院

夜間診察
胃腸
內科 外科

皆樣の
昭和タクシーは
此際 御得意樣本位に
貸切料金の値下斷行
何卒御用命を
平驛前
電三四三（サシミ）
澤正路

△染色力……確實
△使用法……頗る簡便
△價格……低廉
定價……小瓶二五 中瓶三五 大瓶五〇

大販賣店
平町五丁目角
山野邊藥局

第二回長期裁縫講習會
△科目（裁縫ヲ主トシ希望ニヨリ作法、料理法、編物生花等無料ニテ教授ス）
△會費（一ケ月金壹圓）
△會場（平陽女學校）
△服裝（隨意）
△年齡（制限アリマセン）
△入會（何時デモ入會出來マス）
△特典（講習六ケ月終了者ニハ證書ヲ差上ゲマス）
石城郡平町
平陽女學校
尚本校內に寄宿の便もあり但し食費一日二十七錢にして頗る低廉であります

銘酒 清世界
各炭鑛御用達
清水屋
石城小名濱港
小野晋平
電話六番

大浦海岸から出た 奇形動物の古骨
縣に向て可然措置方を通牒 専門家が近く調査開始

大浦村仁井田濱漁業組合では農林省から借受けた同村大字仁井田字須賀向保安林内の濕地を浚渫し養魚場の計畫を樹て去月十二日着手したところ頭部、頸部共に異容にして背部に至り龜の甲の如き根跡を有する奇形動物の古骨を發掘したのでこの旨農林省に報告した結果、同省でも興味をもち學術資料となるかも知れぬと十三日本縣に對して調査措置方を通牒して來たので近く八代縣囑託をして調査させることになつた

愈々明日解禁
愛銃愛犬を撫して 勇み立つ獵天狗

山野に獵犬を追込み飛びたつ雉。山鳥等をねらいうちにドガンと一發。そこに獵の快味がある――この待ちあぐんでゐた獸解禁もいよ〜明十五日からである。本縣は雉、山鳥の棲息は全國一といはれてゐるが本年は殊に暖冬。雪が尠い處へ以て來て天候も順調であつた爲例年にない蕃殖振りを示してゐるので獸犬狗連を喜ばせてゐる十五日から解禁される渡鳥の類は今年は近年になく急激に寒氣が早く襲ふて來た關係から十月十五、六日渡るのが既に去る五。六日頃南國へ向つて飛去つた爲狩獵家連は何れも落膽してゐる。然し十一月一日から解禁され狩獵の主眼とする雉、山鳥が蕃殖してゐるから今年は各獵場とも解禁と同時に非常に賑ひを見せるだらうと思はれる

四倉記念事業 煥發四十週年

四倉町小學校に於ては教育勅語煥發四十年記念事業として左の事業をなす筈
一、記念式擧行（男女青年團青年訓練町內一般合同）
二、尋四學年以上各教室に乃木大將揮毫御勅語寫額の掲出示
三、尋四學年以上の生徒には御勅語表解を交附すること
四、善行兒童の表彰
五、御眞影奉安庫境内に植樹
六、校庭中央に大國旗掲揚の設備をなす事

賣り急ぐな▷▷▷▷▷
關係者に注意 縣の米價安對策

本年縣下の稻作は第一回收穫豫想に於いて百九十八萬石といふ未曾有の大豐作を豫想されるに至り米價は全國的の豐作と相まつてつるべ落しの慘落を見るに至つた結果昨年に比べる時は縣下の農家の損失は實に三十萬圓と註せられこの安値に對し疲弊せる農家は上向くまで到底持ち耐へられない形勢となり、しかのみならず明春の上向時に當つては結局食糧として買入れの餘儀ないこと明かなので縣でも狼狽し極力農業倉庫に保管させる方針の下に來る廿一日縣下の農業倉庫協議會を、二十二日市外地並に准市外地信用組合協議會を縣會議事室に開催倉庫並に組合機能の發揮方について各問題を中心とした協議を行ふ事になつたが縣の腹案は中央金庫から五六十萬圓の資金を借受け擔保として貸出さしめ高値時代を待たせる計畫である

申込を減らさぬよう 縣當局に陳情
農漁山村救濟に就て 鈴木縣議奔走

江名、豐間兩漁業組合では農漁山村救濟資金に對して江名は金五萬圓、豐間は金[illegible]萬圓の借入申込をなしてゐるが兩漁村の不振の現狀を打開するには是非右の金額が必要なから申込通り融資される樣に盡力されたいと縣議鈴木辰三郎氏は十三日出縣野上商工課長、小柳知事に面會してこれが陳情をなした

平町理髪紛紜 再燃の形勢 従業員數が因

平町理髪組合と宮川理髪店間に生じた紛紜はさきに井上、野崎兩氏の調停により圓滿に解決がついた筈であつたが宮川側ではその後依然として調停事項中の従業員制限に關する申し合せを實行せぬと云ふのでまた〜新らしい渦がまき起されんとする形勢にある

拂戻し激增 利下後の平局

平郵便局に於ける郵便貯金利下げの結果平素に比し貯金拂戻額が三四割の增加を示してゐる以前は日々の拂戻額が三千圓より四千圓程度であつたものが現在は六千圓を下らない狀態であり之れと同時に毎日の預金額も增加の傾向を示し七千圓を突破してゐると

立毛品評會 箕輪

永戸組合村及大野村では今十四日から三日間立毛品評會を開催郡農會から青山、柴田兩技手審査員として出席成績優良者には何れも賞品を贈ると

四倉繭市場 四倉

繭市場十三日の取引狀況は總貫數七百五十二貫九百六十匁代金一千三百八十四圓二十四錢最高二圓十一錢最低一圓五十二錢平均一圓八十四錢累計貫數三萬九千三百四十四貫三百八十匁代金七萬四千五百七圓五十一錢であると

土地買收委員會 平

上水道擴張工事土地買收委員會は今十四日午後一時から町役場會議室で行つた

十萬圓を投じて 磐城丸の大改造
沿岸漁業擁護上 明年度豫算に計上す

昨年度豫算に漁港改築案を計畫した縣は之と關係の在る縣水産試驗場監視船磐城丸が現在の能力では速力も遲く實際監視の實が擧らぬので之を百馬力位にして沿岸漁業を擁護する計畫を樹て明年度豫算に於て約十萬圓を以て同船改造の新經費を計上した

內郷の鼠賊 餘罪ある見込

平町大工町柴田元衛（三六）は今曉二時頃內郷村御臺境元巡査農草野助三郎裏口雨戸から忍び入り物品物色中助三郎が發見取り押えの上その筋へつき出したので平署では目下餘罪ある見込みで嚴重取調中

磐中父兄會 縣立

磐城中學校では橋本校長着任以來學校と家庭との聯絡を一層密接ならしむるため本月初旬から學年別に父兄會を開いてゐる

一千萬の大豫算を 果して何う裁くか
明年度の查定開始

明年度本縣歳入豫算は既報の如く庶務課が查定の結果各課の要求もわかり豫算說明に對する庶務課としての意見も出來上つたのでいよ〜昨十三日午後一時から知事の查定に移つた、先づ知事室隣の會議室に特設電燈の設備をなし夜勤の用意まで整へ第一日目は警察商工、水産の二課から開始したが正面の席には小柳知事そのわきに金森內務部長が陣取りその兩がわには太田警察、野上商工の兩課長以下主任豫算係がズラリト並び裁判法廷のやうな光景ひだつた。知事は勿論政府の緊縮方針に基り要求額を取捨選擇所謂裁斷をなすわけであるが一萬圓近くの要求をどの邊まで知事が承認するか非常に注目されてゐる、かくて知事の查定は二十一日までは全部終了し三十日までには最後の確定をなす順序で昨年より約一週間早い

トロに飛ばされ 遊戲中の兒負傷

磐城炭礦坑夫藤澤吉義次男勝（二）は十三日午後四時頃自宅前のトロ道で遊戲中折柄疾走して來た內郷村宮平太郎廾一森久右左衛門（三五）のトロに跳ね飛ばされ全治一週間の傷を負ふたと

立憲養正會便り

昨年支部設立以來陣容の充實につとめつゝあつた立憲養正會磐城支部では此の程本部特派小平三四郎氏を迎ねて各村に猛烈なる運動を開始せるが、政治的岐路に迷ねつゝある農村青年の共鳴感激せるもの多く各地の成績は頗るに大盛况の如くである

十月六日 玉川小學校にて午後六時より開會。入場者滿員にて二百名位

十月八日 湯本町會田醫院にて午後六時より開會。會場狹く多くの人を歸すへ

十月九日 錦村小學校にて開會。入場者二百名の盛况。順序左の如し

一、開會の辭
一、磐城支部結成宣言朗讀 鮫川遜一郎君
一、最も正しく最も明かるき政治 高木秀雄君
一、立憲養正會とは如何なる政黨か 齋藤晃君
一、政道大綱朗讀
一、國體主義の政治とは何ぞや 本部特派小平三四郎氏
一、天皇陛下萬歳
一、閉會の辭

四倉通信

大掃除變更 四倉

町秋季清潔法は來る二十三日に變更せり

健康成績良好 去る

十三日は四倉町藝技の健康診斷日であつたが一人の有菌者なく良好であつたと

四倉女子青年團の賣店

四倉町女子青年團の事業として明十五日の秋季庭運動會に於て會場內に賣店を開く事は既報の通りであるが各商店よりの仕入れも定まり當日は活動振りを期待されてゐる

圓谷商店寄附 四倉

町字仲町圓谷商店主圓谷宗二郎氏は明十五日開催さるゝ同町小學校庭運動會に體育奬勵の目的を以て多大の賞品と金一封とを寄附した

秋（七首） 神保政二郎

電線に赤蜻蛉多く並びて青空高くなりにけるかも
◇
陽を浴びて書よみをれど暑からぬ秋の一日を吾はこもりぬ
◇
常日頃眺めあかざる山狹は朝霧こめて湖の如しも
◇
亡き母の夢よりさめて故郷の父思ふときこほろぎの鳴く
◇
秋雨の晴れたる空に煙はき走り行く汽車によるさと戀し
◇
雨晴れて水玉光れる秋の野に月明く照りてこほろぎ鳴けり
◇
秋の日のあたゝかに照る山狹の高きひくきに赤とんぼ飛ぶ

投稿 歡迎

農村青年よ迷ふなかれ

四月の初めから苦心慘澹して漸く苗を作つた、いよ〜米の收穫が出來るやうになつたが、借て賣り出して見ると驚く勿れ米一俵十圓低下に至つては泣くにも泣かれないではないか、米が上がれば、赤い着物を買つてやるから子守をせよ。長靴を買つてやるから手傳ひをせよ、とおだてられて着物や長靴を唯一の目的、希望として子守もし、手傳ひをもした子供に、その時が來ても一枚の着物、一足の靴さへ買つて與へることの出來ないその親心はどんなであらうか。泣いて泣きゝれないではないか人事を盡して天命を待つとはいふものゝ事玆に至つては神も佛もないかと天を恨み地を呪はざるを得ない、日本の政治家は何をしてゐる、役人達は何を考へてゐる、眼が開いてゐるのが盲なのか死んでゐるのか、生きてゐるのか、た五百姓は一體何處へ行くのだ生くべきか死ぬべきか
◇
然し、恨むまい、呪ふまい、たよるまい、頼むまい、國家有事の日。天變地異の際に自活の出來るものは吾々百姓だけではないか、生きるために百姓ほど强いものがあるか、自己の生命を維持するとゝもに人の生命を維持するものだ、こんな尊い神樣と同じやうな仕事が外にない、とはいふものゝ都會生活者の表面を見れば迷はざるを得ない、不平も言ひたくなる泣きたくもなる、都會に飛び出したくもなる、何處に何の希望がある、何の慰安がある、何の娯樂がある、今の農村にはかうした迷つてゐる人が澤山にある、稼ぐに追付く貧乏なしといふものゝかうした貧乏で、どんなに働いても結局何の役にも立たない
◇
故にわれ〜青年が、自ら中堅となつて、村の老幼諸先輩、あるひは學識ある人々の意見を參考として、その村、その字に固有の農村是を樹立して、その大目標に向つて馬車馬的に猛進することが互に農民として生くべき最も健實な道であることを提唱するものである（松田三郎）

道路下に轉落し 乘客二名が輕傷
高久地內で自動車事故

平町田町野崎自動車運轉手茨城縣多賀郡磯原町上相田原光男（三三）が高久村下高久片龍前地內疾走中乘客の荷物がブレッキとクラッシの間に落ち運轉不能となり道路下に轉落乘客九名の內平町四丁目菊地セエ（六七）は左手指に輕傷村上新田小館鈴木フヨは左手に何れも硝子の破片で全治一週間の傷を負ふた

縣會は來月十五日
月末查定終る

別項の如く三十日小柳知事の手により最後の明年度豫算が確定すればいよ〜縣會招集の段取りとなる昨年は十一月二十二日の招集であつたが今年は早く開く方針で豫算の編成を急ぎつゝあるが現在庶務課で豫定するところによれば十一月一日に縣會招集の告示をなし十一月十五日をもつて開會することになるらしい

かみなり

◇一體電信柱は何も橫着なマネはない。自動車が通つたと云ふのに平氣で突つ立つてるから衝突したのだハヅミを喰つて乘つてゐた〇子が湯本へ行かないうちにお客と衝突した、これを稱して二重衝突といふ「二重衝突キッスをすれば」唄ふところの騒ぎぢやない、アソコあたりは堀坂か、ボ、ホイ◇問題は運轉手に罪があるか、將たまた、若し運轉手が精神モウロウとなり車が千鳥足になるほど、フザケ散らした雌雄一對の、積んだ荷物が惡いかにある獨りもの〉運轉手が電信柱を相手に見付けてダッコしたのだから、電信柱は無罪放免の判決があつた◇にゴム人形の〇子は臍から空氣が洩れるので目下修繕中なる由。

平樂亭値下げ 新川

町平樂亭では調理の新鮮と價格の低廉とで一般から好評を博してゐるが今回時世に應じ一品につき約五錢方の値下げを行つた

平町人事

△出生
平町堤之內二八日雇業大塚吉造長女トキ
△死亡
平町錦田町十三木田ナミ（一）
平町二町目二七双葉郡北[illegible]村北澤[illegible]橋北日匠町一小濱勝任（七二）
平町鍛冶町九內郷村白水川平小林ツメ（六四）
平町杉平双葉郡瀧田村大谷堂の內四九猪狩清兵衛（七三）

毎度御引立てを厚く御禮申上升
此度弊店儀時勢に伴へ來る十五日ヨリ値下を致しました。
支那そば 金十錢
しうまい 金十錢
わんたん 金十錢
右値段にて御客樣本意に御勉め致します。
尚出前は迅速に申上升何卒御用命を
平町新川町 平樂亭 電話二九六番

毛糸 編物の御敎へ致シマス
國產優等毛糸 一オンス 十二錢
國產中細毛糸 一オンス 十四錢
國產極細毛糸 一オンス 十五錢
國產霜降毛糸 一オンス 十八錢
一封度（十六オンス）以上ハ御値デ差上マス
編物器具類ナラドンナ品デモハシモトヤデ御間ニ合セ致シマス
平町田町 ハシモトヤ糸店

新築落成
耳、鼻、咽喉科 氣管食道科（專門）
平町南町（舊診療所向電一七〇番）
大和田醫院 大和田郡司
自炊の便あり

高久病院
平町田町 電話五〇一番
院長 高久
新潟醫學士 赤沼
藥劑士 佐竹菊
內科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

男文平儀葬送の際は遠路御會葬を辱ふし奉深謝候不取敢以紙上御厚禮申上候 敬具
昭和五年十月十四日
湯本町 仲里顯太郎